



平成 29 年 3 月 14 日

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

国立国際医療研究センターと医薬品医療機器総合機構が 包括的連携協定を締結

国立研究開発法人国立国際医療研究センター（NCGM）（理事長：春日雅人）と独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）（理事長：近藤達也）は、わが国のレギュラトリーサイエンスの振興に資することを目的として、平成 29 年 3 月 14 日付で包括的連携協定を締結しました。

NCGM は、新興・再興感染症及びエイズ等の感染症、糖尿病・代謝性疾患、肝炎・免疫疾患ならびに国際保健医療協力を重要分野とし、国際的な視点に立脚した医療に取り組んでいます。

PMDA は、医薬品・医療機器等の安全対策、審査及び健康被害救済の三業務を行っており、レギュラトリーサイエンスの推進を通して業務の質の向上を図り、国民の健康・安全の向上に貢献すべく取り組んでいます。

このような背景の中、NCGM と PMDA はこれまでも人材交流や国際活動において協力を行ってきましたが、本協定の締結により強力な連携・協力体制を構築し、国際的事案対応の相互協力や人材交流・人材育成の推進に取り組めます。

【連携・協力内容】

- 国際的事案対応の相互協力
 - PMDA は、アジア各国の規制調和及び人材育成を目的とした各種プログラムの実施において、NCGM からの講師派遣を受け、NCGM の有する国際的なネットワークを活用します。
 - NCGM は、PMDA からの講師派遣等を通して PMDA の有するノウハウの提供を受けます。

- 人材交流・人材育成の推進

継続的な人材交流基盤の確保に加え、以下の活動を通して人材育成を行います。

- NCGM は感染症、糖尿病、肝炎、エイズ、薬剤耐性等に関する情報について、国際的な視点に立脚した研修や講演を PMDA 職員に行います。
- PMDA は、レギュラトリーサイエンスの推進に寄与する人材の育成を、人材交流を通して NCGM 職員に行います。

【レギュラトリーサイエンスとは】

「科学技術の成果を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づく的確な予測、評価、判断を行い、科学技術の成果を人と社会との調和の上で最も望ましい姿に調整するための科学」(第4次科学技術基本計画 平成23年8月19日閣議決定)とされています。

※包括的連携協定については、以下のページもご参照ください。

<http://www.pmda.go.jp/rs-std-jp/joint-grad-school/0001.html>

【お問合せ先】

〔担当〕

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

企画戦略局 広報企画室 広報係長 三山（みやま） 剛史

Tel : 03-5273-5258

企画経営部 研究医療課 研究所事務係長 菅原（すがわら） 浩司

〒162-8655 新宿区戸山 1-21-1

Tel : 03-6228-0475

〔担当〕

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

企画調整部 広報課長 澁岡（ふちおか） 学

同部 広報課 高浦（たかうら） 葉月

Tel : 03-3506-9454

レギュラトリーサイエンス推進部長 長谷部（はせべ） 和久

同部 推進課長 堀（ほり） 明子

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2

Tel : 03-3506-9573